

植物ゲノム・遺伝子源解析センター 公開月例セミナー

とき 令和2年12月18日（金）16時～17時
ところ リモート開催（アドレス情報はセンターHPに後日掲示）
題目 「アマミノクロウサギの食性解析」
講師 農学部助教 川崎 淨 教 博士

講演内容概略

アマミノクロウサギ (*Pentalagus furnessi*) は鹿児島県の奄美大島、徳之島にのみ生息するウサギで国の特別天然記念物に指定されており、これまでに交通事故やイヌ、ネコ等により傷を負った個体は保護されてきた。しかし、保護の際に参考とするアマミノクロウサギの食性に関する情報は不足しており、これまでに行われた食性解析は摂食が確認された植物の記録や死亡個体の胃内容物調査のみであり、確認された個体数も少ない。

近年、次世代シーケンサーを用いた新たな食性解析手法が登場し、網羅的解析が可能となりつつある。そこで、現在取り組んでいるアマミノクロウサギの食性解析の手法や問題点について紹介する。

※ご参加ご希望の方は、下記のセンターHPにアクセスの上、開催アドレス（Zoom予定）情報を取得してください。



主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター
(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)